

代表質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2015年 2月 20日

三島市議会議員 土屋俊博様

三島市議会議員 24番 金子正毅



質問事項及び具体的内容

1 被爆70年と非核平和都市宣言自治体の果たすべき役割について

今年は戦後70年の節目の年であると同時に、広島、長崎の被爆70年であり、5年ぶりに核不拡散条約（NPT）再検討会議が開催される年でもある。

「核兵器のない世界の実現」に向けた転機とするためにも、全国に先駆けて「平和都市（核非武装）宣言」を行った三島市の平和事業等について市長の见解を伺う。

- ① 昨年「従軍慰安婦」問題で後援を断った「反核市民の集い」に対する今後の対応はどうか。
- ② 日本政府に対し「核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」を提出する考えは。

2 少子高齢化・人口減少への対策としての戦略的課題について

市長は施政方針において「少子高齢化と人口減少への対策を最重要課題と捉え、定住人口の増加と新たな働く場所を創造する施策の推進とともに、安心して子育てができる環境の充実、生涯に亘り健幸で生き生きと暮らせるまちづくりに全力で取り組む」と述べているが、先に発表された内閣府の報告書「地域の経済2014」に照らし、次の点について伺う。

- ① 子育て支援の充実策として、希望する子どもたちにワクチン接種を考えたらどうか。
- ② 定住人口の増加対策として、若者向け「住宅建設費助成制度」の創設について。

3 “健幸”を実感できる「スマートウェルネスみしま」の推進について

市長は、予算編成の基本方針第2の柱に「人もまちも産業も健幸を実感できるスマートウェルネスみしまの推進と未来に繋がる教育・文化の充実」を掲げ、市民一人ひとりが「健やかで幸せ」を感じる「日本一の“健幸、都市”を目指すとしつつ具体的な施策として「各種健診の充実」を挙げている。そこで女性のがん検診の拡充について伺う。

- ① 県下市町における乳がん・子宮がん検診の実施状況について。
- ② 三島市は女性のがん検診を「2年に一度」としているが、毎年実施すべきではないか。

4 格差社会が引き起こす市政上の諸問題への対応について

今や格差の拡大が世界中で深刻な問題として取り上げられ、懸念や批判が強まっている。三島市政における「格差」に関わる問題として次の点について伺う。

- ① 「ひとり親家庭支援事業」の一つとして、非婚ひとり親家庭に寡婦控除適用を。
- ② 市職員の非正規雇用の増加は格差を拡大するものであり、改善が必要ではないか。

5 「観光戦略アクションプラン」と日本百名城山中城の位置づけについて

施政方針は、観光振興の取り組みとして「観光交流人口700万人」を目指す「三島市観光戦略アクションプラン」の更なる展開を図るとしているが、以前から指摘しているように日本百名城山中城の観光資源としての位置づけに弱さがあり相応の取り組みが見られない。

地元民の期待に答えるうえからも、これまで以上の取り組みが求められるので再度伺う。

- ① 山中城活性化と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的事業について。